

第 43 期

事 業 報 告

(平成23年度)

自 平成23年 4 月 1 日
至 平成24年 3 月31日



公益財団法人
内藤記念科学振興財団

目 次

第43期（平成23年度）事業概要	2
1. 第43期（平成23年度）の事業について	2
（1）公募事業	
① 科学振興賞（褒賞）	2
② 科学奨励金・研究助成金	2
③ 科学奨励金・若手ステップアップ研究助成金	2
④ 海外学者招聘助成金	2
⑤ 海外研究留学助成金	2
⑥ 女性研究者研究助成金	2
⑦ 講演助成金	3
⑧ 若手研究者海外派遣助成金	3
⑨ 特定研究助成金	3
（2）公募事業以外の公益事業	
① 講演事業（寄附行為第4条第1項第7号）	4
a. 第30回内藤コンファレンスの開催結果	4
b. 第31回内藤コンファレンスの開催結果	4
c. 第32回内藤コンファレンスの開催結果	5
d. 第33回内藤コンファレンスの開催準備	5
e. 第34回内藤コンファレンスの開催準備	5
② 内藤記念くすり博物館での企画展示	5
③ 広報誌「内藤財団時報」の発行	5

第43期（平成23年度）事業概要

内藤記念科学振興財団は、昭和44年4月7日付け、委大第4の1号をもって文部大臣より設立の許可を受けて、寄附行為に定められた諸事業を開始した。平成23年4月1日から平成24年3月31日に至る第43期（平成23年度）の事業活動として、寄附行為第3条に掲げる、人類の疾病の予防と治療に関する自然科学の研究を奨励し、もって学術の振興および人類の福祉に寄与することを目的として、寄附行為第4条に基づき下記の諸事業を行った。なお、公益財団法人として移行認定を受け、平成23年4月1日付けで公益財団法人 内藤記念科学振興財団となった。

1. 第43期（平成23年度）の事業について

平成23年度は、以下の事業を実施した。

(1) 公募事業

① 科学振興賞（褒賞）

科学振興賞は、当財団が定めた日本遺伝学会ほか計27の学会（長）、並びに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼し、12件の候補を受付け、選考委員会で審査した後、理事会において受賞1件を決定した。

② 科学奨励金・研究助成金

科学奨励金は、313件の候補者を受付け、80件を採択した。

③ 科学奨励金・若手ステップアップ研究助成金

科学奨励金・若手ステップアップ研究助成金は、8件の候補者を受付け、3件を採択した。

④ 海外学者招聘助成金

海外学者招聘助成金は、6件の候補者を受付け、6件を採択したが、その後1件辞退があった。

⑤ 海外研究留学助成金

海外研究留学助成金は、44件の候補者を受付け、15件を採択した。

⑥ 女性研究者研究助成金

出産や育児で研究を中断した女性研究者の復職と今後の更なる研究業績向上の支援を目的として設立された。今年度は55件の候補者を受付け、10件を採択した。3年目の平成21年度継続分の5件は審査のうえ継続を決定した。平成22年度継続分の5件を合わせ、合計20件を助成した。

以上、②～⑥までの5事業については、全国の国立・公立・私立大学など688の自然科学系研究機関の長、並びに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼した。なお、④の海外学者招聘助成金については、この他に当財団が定めた27学会（長）にも推薦を依頼した。受領者の採択は、選考委員会での審査・選考を経た後、理事会で決定されたものである。

⑦ 講演助成金

当財団が定めた日本遺伝学会ほか計27の学会（長）、並びに当財団の理事・監事・評議員に候補の推薦を依頼し、国際会議の開催時期に応じて、四半期毎に年4回申請を受理し、17件を受付け、選考担当理事4名及び選考委員長で構成される審査会で審議し、常務理事が決裁し、17件を採択した。

⑧ 若手研究者海外派遣助成金

若手研究者海外派遣助成金は、候補者37件の中から28件を採択した。

四半期毎に年4回申請を受理し、選考担当理事4名および選考委員長で構成される審査会で審議・決定された。

⑨ 特定研究助成金

平成23年6月に第30回内藤コンファレンス『生体膜ダイナミクスと脂質生物学〔Ⅱ〕－脂質ドメイン、脂肪滴、疾患－』、同9月に第31回内藤コンファレンス『糖鎖の発現と制御〔Ⅱ〕－代謝物、ストレス応答、マイクロドメインと展望－』、同10月に第32回内藤コンファレンス『こころの機能と疾患の分子機構』を開催し、それぞれの組織委員会においてポスター発表者の中から10件を選出し、各内藤コンファレンスとも、10人に500万円、合計30名に対し、総額1,500万円を贈呈した。加えて、平成24年度に開催される、第33回内藤コンファレンス『酸素生物学－酸素濃度に対する生物応答とその制御破綻による疾患－』の組織委員5人に900万円、第34回内藤コンファレンス『感染・炎症・免疫』の組織委員4人に600万円、合計9人に1,500万円を贈呈した。

助成金申請件数と採択件数、助成金額は次のとおりであった。

助成金の実績

科 目	申請件数	採択件数	採択率	当初予算	贈呈額
科学振興賞（含金メダル）	12 ^件	1 ^件	8%	10,500,000 ^円	10,619,185 ^円
科学奨励金・研究助成	313	80	26	240,000,000	240,000,000
科学奨励金・若手ステップアップ研究助成	8	3	38	10,000,000	14,000,000
海外学者招聘助成金	6	5 ^{*1}	100	10,000,000	2,600,000
海外研究留学助成金	44	15	34	15,000,000	15,000,000
女性研究者研究助成金	55	10	18	20,000,000	20,000,000
（平成19年度からの継続分）	5	5	100	15,000,000	15,000,000
（平成20年度からの継続分）	5	5	100	15,000,000	15,000,000
講演助成金	17	17	100	10,000,000	8,500,000
若手研究者海外派遣助成金	37	28	76	10,000,000	8,460,000
特定研究助成金	188	39	21	33,000,000	30,000,000
合 計	690	208	30	388,500,000	379,179,185

* 1 決定後、1件辞退あり。

以上、9つの助成事業において、推薦690件に対して208件を採択し、総額379,179,185円を助成した。

(2) 公募事業以外の公益事業

① 講演事業（寄附行為第4条第1項第7号）

a. 第30回内藤コンファレンスの開催結果

平成23年6月28日（火）午後から7月1日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロにおいて、理化学研究所脳科学総合研究センター チームリーダー 平林 義雄先生を組織委員長として、第30回内藤コンファレンス『生体膜ダイナミクスと脂質生物学 [Ⅱ] -脂質ドメイン、脂肪滴、疾患』を開催した。費用総額は2,254万円であった。

b. 第31回内藤コンファレンスの開催結果

平成23年9月13日（火）午後から9月16日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロにおいて、東海大学糖鎖科学研究所 所長 鈴木 明身先生を組織委員長として、第31回内藤コンファレンス『糖鎖の発現と制御 [Ⅱ] -代謝物、ストレス応答、マイクロドメインと展望-』を開催した。費用総額は2,205万円であった。

c. 第32回内藤コンファレンスの開催結果

平成23年10月18日（火）午後から10月21日（金）正午まで、山梨県北杜市 ハケ岳ロイヤルホテルにおいて、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授 西川 徹先生を組織委員長として、第32回内藤コンファレンス『こころの機能と疾患の分子機構』を開催した。費用総額は2,204万円であった。

d. 第33回内藤コンファレンスの開催準備

平成24年6月26日（火）午後から7月29日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレゼ ガトーキングダム サッポロにおいて、東北大学大学院医学系研究科 教授 山本 雅之先生を組織委員長として、第33回内藤コンファレンス『酸素生物学－酸素濃度に対する生物応答とその制御破綻による疾患－』を開催するため、組織委員会を開催しプログラムをまとめた。開催準備費用として、今年度は、115万円を支出した。

e. 第34回内藤コンファレンスの開催準備

平成24年10月16日（火）午後から10月19日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレゼ ガトーキングダム サッポロにおいて、東京大学医科学研究所 教授 笹川 千尋先生を組織委員長として、第34回内藤コンファレンス『感染・炎症・免疫』を開催するため、組織委員会を開催しプログラムをまとめた。開催準備費用として、今年度は、87万円を支出した。

② 内藤記念くすり博物館での企画展示

理事会での承認を得て、内藤記念くすり博物館での資料収集・展示事業として企画展『病まざるものなし ～日本人を苦しめた感染症・病気 そして医家～』を開催し、400万円を支出した。

③ 広報誌「内藤財団時報」の発行

本誌発行の目的は、当財団の設立趣旨と研究助成事業等の活動内容を公表し、大学・研究機関等及びご支援をいただいている寄附者などの多くの財団関係者に、当財団へのご理解を深めていただくとともに、常に活動内容のレビューを行うことにより、多方面からの継続的なご支援をお願いすることにある。

第88号（平成23年9月7日）及び第89号（平成24年3月13日）を発行し、寄附者、全国の研究機関、当財団の役員等関係者、助成金受領者、報道関係、他財団等に配布した。

*『内藤財団時報』 第88号……………B5判136頁、2,400部、146万円

*『内藤財団時報』 第89号……………B5判154頁、2,700部、142万円

合計288万円を支出した。